



ウクライナ横浜基金は、横浜を拠点に活動するNPO法人です。

当法人は営利活動を目的とせず、皆様からのご寄付やチャリティコンサートの収益を、ウクライナの戦災被害者への医療支援、および日本における子供たちの文化・芸術教育支援に役立てています。

現在の重点目標



アルテム氏のリハビリ支援

負傷した若者アルテム氏が再び自立した生活を送れるよう、専門的なリハビリテーションと継続的な医療支援を行っています。心身の回復と社会復帰を支えることは、私たちの重要な使命の一つです。



子供たちのための音楽スタジオ

音楽家を志す子供たちが、経済的な事情によって夢を諦めることのないよう、無償で専門的な音楽教育を受けられる環境づくりを進めています。次世代を担う若い芸術家たちの育成を目指しています。



日ウ文化交流の促進

ウクライナの豊かな音楽文化を日本に紹介するとともに、チャリティ活動を通じて日本とウクライナの交流と相互理解を深めています。また、現地への人道支援活動も継続して行っています。

皆様からの温かいご支援が、負傷者の回復と子供たちの未来につながっています。
一つひとつの支援が、希望を支える大きな力となります。



宮沢賢治（1896-1933）生誕130周年記念 音楽と詩のショー

青い松並 萱の花 古いみちのくの断片を保て

『つめくさ灯ともす宵のひろば たがひのラルゴをうたひかはし
雲をもどよし夜風にわすれて とりいれまぢかに歳よ熟れぬ』
詞は詩であり 動作は舞踊 音は天楽 四方はかがやく風景画
われらに理解ある観衆があり われらにひとりの恋人がある
巨きな人生劇場は時間の軸を移動して不滅の四次の芸術をなす

住所

〒231-0005
横浜市中区本町6-50-10 横浜市役所1Fアトリウム内

お車で

地下1階駐車場(自動車：179台 / バイク：56台)
※みなとみらい方面からは「日本丸」
交差点で右折してお越しください。

市役所駐車場・駐輪場のご案内

電車で

- ・みなとみらい線「馬車道駅」1c出口 直結
- ・JR「桜木町駅」新南口(市役所口) 徒歩3分 (約200m)
- ・地下鉄「桜木町駅」 「1口」から徒歩3分 (約200m)



Google マップ

協賛：株式会社ヨコレイ

後援：アルケリス株式会社

本コンサートは、横浜市教育委員会の
後援を受けて開催しております

Yahoo! マップ



令和8年7月28日(火)18:50～20:10

〒231-0005 横浜市中区本町 6-50-10
横浜市役所1Fアトリウム

たがひのラルゴ ～共鳴する光と絆の夕べ～



- フルッツ クライスラー：Praeludium and Allegro (プニャーニの様式による) 6' (ロマン)
詩の朗読 (合田) 3'
- リヒャルト ワーグナー：Romanze 5' (ロマン)
- ニコロ パガニーニ：La Campanella 9' (ロマン)
レオの演説 3'
- ゲオルク フリードリヒ ヘンデル：But who may abide the day of His coming?
【メサイア】より 5' (野間)
- ジョアキーノ ロッシーニ：Cruda sorte! Amor tiranno! 「アルジェのイタリア女」より 5' (野間)
詩の朗読 (合田) 3'
- 寺山修司・作詩、中田喜直作曲：悲しくなったときは 4' (野間)
アリアのあらすじの解説 (合田)
- カミーユ サン＝サーンス：Mon coeur s'ouvre à ta voix
(私の心はあなたの声に開く)【サムソンとデリラ】より 7' (野間とロマン)

集まった資金は、以下の目的に使われます：

- 神奈川県の子どもたちのための音楽スタジオの設立 運営
- ウクライナ人負傷者ドゥノフスキー アルテム氏のリハビリ支援

ご寄付のお振込先





特定非営利活動法人ウクライナ横浜基金 (UYFund) 代表 シャポワロフ レオニード からお挨拶

ご来場の皆様

本日は、横浜市役所アトリウムで開催される私たちのチャリティコンサートにお越しいただき、心より感謝申し上げます。

2026年8月27日は、日本の偉大な詩人、教育者、そして人道主義者である宮沢賢治の生誕130周年にあたります。彼の存在は、私たちにとって特別な意味を持っています。もし私たちの組織が100年前に存在していたなら、あるいは宮沢先生が現代に生きておられたなら、私たちは必ず共に慈善プロジェクトを創り上げていたに違いありません。

芸術を通じた社会の発展、子どもたちへの教育、自然への深い畏敬の念、そして「一人の真の幸福は、世界全体の幸福なしにはあり得ない」という揺るぎない信念。これらは、我が「ウクライナ横浜基金」の活動の礎となっている理想そのものです。

「世界がぜんたい幸福にならないうちは個人の幸福はあり得ない」

現在、ウクライナの人々が戦争という過酷な試練に直面している中、私たちは宮沢賢治の志を継承し続けています。負傷した市民や医療機関への支援を行うとともに、次世代を担う子どもたちの未来を、音楽教育や文化プログラムを通じて守っています。才能ある若者のための無料音楽クラスは、破壊ではなく創造が支配する世界への、私たちのささやかな貢献です。

「誰だって、ほんとうにいいことをしたら、いちばん幸せなんだねえ」

皆様のご支援に心より感謝いたします。宮沢先生が夢見たように、私たちも共に、世界を少しずつ明るく照らしていきましょう。

コンサートは
自由入場 自由席



NPO
公式
サイト

お問い合わせ
info@ukr.yokohama
090-5341-1418 (9 - 17時)

ご寄附
のお願い
ご寄附先口座

コンサートの収益は 手数料を差し引かず全額を アルテム氏リハビリ支援と子供たちのための音楽スタジオプロジェクトに使用します



セドヴォロシィ ロマン Siedovolosyi Roman (Violin)

5歳からヴァイオリンを学び、6歳でハリコフ中等特殊音楽学校に入学。11歳でハリコフ国立交響楽団と共演。以降、ウクライナやチェコの国際コンクールで多数受賞。コトリャレフスキー国立芸術大学にて修士号・博士号を取得後、演奏・教育活動に従事。2013年、ハリコフ国立オペラ・バレエ劇場ヴァイオリン奏者に就任。2015年、コンサートマスターに昇格。2022年より日本で作曲・演奏活動を開始し、「ウクライナの夜」「バッハの音楽をウクライナから」などの公演を開催。卓越した技巧と豊かな表現力を兼ね備え、繊細かつ情熱的な演奏で高い評価を得ている。



合田 ケイ子 Goda Keiko コンサート司会 朗読

1959年生まれ。大学在学中よりオンシアター自由劇場(申田和美主宰)に研究生として参加。1983年にNHK新潟放送局「暮らしのガイド」を担当後、一時活動を休止。2008年に再び舞台へ。以来、小劇場をはじめ、テレビドラマ・CM・再現フィルムなど多方面で活躍。2012年から8年間、浅草21世紀の座員として、毎月浅草・木馬亭に出演。2023年には国立劇場フィナーレ公園「赤ひげ」(圭史企画)に出演。朗読 語りにおいては、クリアな発音と細やかな表現力に定評があり、情感豊かな声で物語世界を紡ぎ出す。現在も舞台を中心に精力的に活動中。



野間 愛 Noma Ai (Contralto)

徳島県出身。東京藝術大学大学院オペラ専攻修士課程、博士後期課程を修了し博士号を取得。東京藝術大学バッハカンタータクラブOG、これまでにヘンデル作曲『メサイア』、J.S. バッハ作曲『ロ短調ミサ曲』、ベートーヴェン作曲『交響曲第九番』、マーラー作曲『交響曲第2番 復活』などのアルトソリストを務める。プロ合唱団やアンサンブルグループの一員としても演奏活動を行い、主催事業では日本語によるオペラの制作公演団体「オペラのまど」の代表として新作オペラの公演企画を行う。現在、東京都立総合芸術高校非常勤講師。



シャポワロフ レオニード Shapovalov Leonid (Piano) コンサート総監督 編曲

ウクライナ横浜基金理事長。1971年キーウ生まれ。キーウグリエル音楽大学卒業後、グネーシン音楽院修士課程修了。1996年、フランスの国際ピアノコンクールで第1位を獲得し、ヨーロッパ各地でリサイタルを開催。2018年に初来日。2024年、日本国際音楽コンペティションにて奨励賞受賞。2022年、ロシアによる侵攻直後にウクライナ横浜基金を設立し、チャリティコンサートや医療支援などの活動を継続している。音楽活動に加え、IT分野における国際プロジェクトにも携わる。趣味はサイクリングと水泳。ニックネームは「レオ」。